

第19回 ファミリーホーム全国研究大会 in 長崎

ハウステンボス開催

開催要綱

大会テーマ

「つなぐ・つなげる・つながる」
— ファミリーホームのこれから —

1. 趣旨

平成28年の児童福祉法等の抜本的な改正を受けて、平成29年8月に「新たな社会的養育の在り方に関する検討会」において、今後の社会的養育の在り方を示す「新しい社会的養育ビジョン」が取りまとめられた。改正児童福祉法等の理念のもと、「家庭養育優先原則」を徹底し、子どもの最善の利益を実現していくことが求められていた。これを受け、厚生労働省より、平成31年度末までに新たな都道府県社会的養育推進計画を策定し、計画に従って社会的養護の子ども達の養育が行われている。

都道府県社会的養育推進計画については、令和6年に見直しが行われ、それに基づいた取り組みが始まっている。

本大会は、「つなぐ・つなげる・つながる」をテーマに設定し、サブテーマを「ファミリーホームのこれから」という事で、分科会では、「ファミリーホームと関係機関の連携」「ファミリーホームの高機能化多機能化」「子どもたちを大切にした支援」を分科会のテーマとし、子ども達・養育者・補助者だけ「つながり」ではなく、関係機関に、どのように「つなぎ・つなげ・つながる」か、また、ファミリーホームが地域社会にどのように「つながり」を持ち、委託児童の支援だけではなく、地域支援に関わる事ができるのかを考え、ファミリーホームの子ども達のより良い支援と現在、少しずつ進んできているファミリーホームの多機能化についても考えていきたい。

2. 主催

日本ファミリーホーム協議会

長崎県ファミリーホーム協議会

3. 後援

こども家庭庁、長崎県、公益財団法人全国里親会、全国児童家庭支援センター協議会
全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国自立援助ホーム協議会

4. 期日

令和7年7月30日（水）～31日（木）

5. 会場

【第1日目】

令和7年7月30日（水）

開会式・基調講演

ハウステンボス内 タワーシティ第4会議室

交流会

ハウステンボス ホテルヨーロッパ内 レンブラントホール
〒859-3292 長崎県佐世保市ハウステンボス町1-1

【第2日目】

令和7年7月31日（木）

分科会

ハウステンボス内 タワーシティ第1会議室～第4会議室

6. 日程

	9:45		13:45	14:15	15:20	16:30	18:00	20:00
【1日目】 6月30日 （水）	事前 打合せ	受 付	開 会 式	行 政 説 明	基 調 講 演	チ ェ ッ ク イ ン	交 流 会	

	9:15	9:45	11:00	11:20	11:40
【2日目】 6月14日 （水）	事前 打合せ	受 付	分 科 会	報 告 会	閉 会 式

※子どもプログラム（託児）のスケジュール

1日目	受付	13:15～13:45	子どもプログラム（託児）	13:45～16:30
2日目	受付	9:15～9:45	子どもプログラム（託児）	9:45～11:40

7. 内容

【第1日目】7月30日（水）

- (1) 受付（9:45～13:45）
- (2) 開会・式典（13:45～14:15）
- (3) 行政説明（14:15～15:20）
こども家庭庁 支援局 家庭福祉課 調整中 氏
- (4) 基調講演（15:20～16:30）
社会的養育総合支援センター センター長 堀 浄信氏
- (5) 交流会（18:20～20:00）

【第2日目】7月31日（木）

- (1) 事前打合せ（9:00～9:45）
- (2) 受付（9:15～9:45）
- (3) 研究部会（9:45～11:20）

《第1研究部会》

= テーマ = 『ファミリーホームに期待されること』

～関係機関との連携～

= コーディネーター・助言者 =

社会的養育総合支援センター センター長 堀 浄信 氏

= 趣 旨 =

委託児童の豊かな人間性及び社会性を養い、自立を支援することを目的とするファミリーホームとして、いま、そして、これから社会で生活する児童のより良い成長につなげるために、様々な機関や人との連携は必要不可欠である。

本研究部会では、参加者相互の連携を深め、その状況を共有するとともに、今後、ファミリーホームに期待される関係機関との連携のあり方を研究する。

《第2研究部会》

= テーマ = 『 ファミリーホームのこれからの役割 』

= コーディネーター・助言者 =

ワズハウス養育者 小松拓海 氏

= 趣 旨 =

ファミリーホームのこれからの役割として、ファミリーホームが地域と「つながる」活動の実践報告をさせていただきます。

《第3研究部会》

= テーマ = 『 子ども達の支援について 』

～子どもたちが大切にされていると感じる支援について～

= コーディネーター・助言者 =

児童家庭支援センター絆 センター長 荒木康生 氏

= 趣 旨 =

社会的養護の子ども達の現状として、6割近い子どもが被虐待児である。被虐待児でなくても、家庭の問題で、心のケアが必要な子どもが多い状況である。

本研究部会では、子ども達の自己肯定感を高め、自分に自信が持てるような支援を研究する。

(4) 閉会式 (11:20 ~ 11:40)

8. 参加費

9. 申込について

参加費及び申し込みについては、別紙のお申し込みのご案内を参照

10. 問い合わせ・申込先

(1) 大会の内容・運営に関すること【大会事務局】

児童家庭支援センター絆 荒木・桑原

〒849-0906

佐賀県佐賀市金立町大字金立3931番地

TEL: 0952-37-7723 FAX: 0952-37-7075

Mail: kizuna@star.saganet.ne.jp